



未来とよなか 志民だより

豊中市議会議員（無所属）

北ノ坊しんじ

7月臨時議会・9月議会報告

7月臨時議会が7月9日から8月8日まで開催されました。本年4月に市長選（結果的には無投票）があったため、選挙後の新市長による政策的な施策を実施できるようあらかじめ3月の新年度予算編成時に予備費として使途を定めない経費を計上しておき、選挙後の新市長のもと、補正予算という形で予備費の使い道を7月臨時議会で決定しています。豊中では市長選のある4年ごとにこのような方法を採用していますので、他の年の7月臨時議会では通例行っていない、代表質問や委員会審議などが行われたため会期が長くなっています。

また、9月定例議会が9月5日から26日まで開かれました。通常、9月議会には、議員が市政に関わるテーマ全般にわたって時間制限内であれば自由に聞くことができる一般質問が行われていますが、議会運営委員会の決定により行わないことになりました。行わないでよいという意見の委員さんは『市長改選年は7月に代表質問しており、あまり時期が離れていないので・・・』という趣旨のことを理由として述べられましたが、実は、本年（市長改選年）は同じ理由から6月議会においても一般質問を行わない結果となりました。つまり、市長改選年は一般質問あるいは会派代表質問を行える議会が、3月、7月、12月の合計3回となります。ちなみに去年は3月、6月(5月)、9月、12月の合計4回実施しています。これでは市長改選年は質問の機会が減るのではないかと私どもの会派『未来とよなか』では考え、議会運営委員会でも実施すべきと主張しましたが、多数決の結果、行わないことになりました。

他市の市議会の一般質問の状況を見聞すると、必ずしも全ての議員が毎回、質問の機会があるごとに質問しているわけではありません。その議会ごと、そのタイミングで質問したい内容がある議員のみが質問に立っているというのが本来のあるべき姿だと思いますし、制度上、質問のある議員は議長に対して質問通告書というものを提出し質問することになっています。つまり、質問がなければ通告書を提出しなければよいということです。ところが、結果として豊中市議会では質問の機会がある議会においてほぼすべての議員が質問に立っており、このことが、機会があるなら質問に立たなければならないという『強迫観念』につながり、裏返すと、そもそも質問の機会がなければ質問せずに済むという本音につながっているのではないかと推察されます。

言うまでもなく、議員を評価する物差しは議会での発言回数や時間の多寡ではなく、『中身』であると思います。これからも活発な議会に近づけられるよう、継続して取り組んでいきたいと思います。また、『中身』で評価されるよう、これからも努力を重ねていきたいと思います。

北ノ坊しんじ プロフィール

生 年：昭和49年（1974年） 豊中生まれ 妻、子供4人の6人家族

出身校：市立克明小・市立豊中五中・府立豊中高・立命館大・立命館大学院（経営学修士）

議会歴：平成19年初当選（現在2期目）

環境福祉常任委員長・各常任委員会委員・空港問題調査特別副委員長・老人ホーム組合議会議員等を歴任

現役職：会派幹事長・議会運営委員会委員・文教常任委員会委員・空港問題特別委員会委員・市農業委員会委員

その他：おかまちまちづくり協議会運営委員・ボーイスカウト豊中18団副団委員長兼ローパー隊長・豊陵会（豊中高校同窓会）評議員・立命館大学北摂校友会幹事 など

議会で承認された主な事項

子どもの医療費助成を拡充

これまで通院や入院に関して対象者にそれぞれ年齢や所得制限がありましたでしたが、通院・入院ともに所得制限を撤廃、年齢も12歳までに拡充されました。本年12月1日以降の医療に対して適用されます。

図書館に自動貸出機を導入

他市では一般的になりつつある、図書館の自動貸出機・自動返却機がようやく本年度末頃より、岡町・千里・野畑の各図書館で先行導入されます。これにより、図書館業務の効率化が図られ、人件費などの経費節減や近隣他市と比較して貧弱だった図書購入費の増加も今後可能になるのではないかと期待しています。

ローズ球場（豊島公園内）の改修

平成30年高校野球100回記念大会大阪大会決勝戦の開催や、国際野球連盟によるU-18ワールドカップの試合誘致を見据え、スコアボードを国際規格に、また観客席の大幅増を目指した改修に取り組みます。



学校施設の改修

近年、主に財政難のため各年1校ずつ程度しかできていなかったトイレ改修、エレベータ設置を今後複数校で予算化していきたいと表明。当初予算分に加え、今回の補正予算においても克明小・中豊島小にエレベータ、北条小・第13中にトイレ改修の予算が付きました。かねてから、市内の学校施設の量に対して、予算付けする校数が少なすぎるため、全校一巡する前に最初に取り組んだ学校の設備が寿命になると指摘。ようやく実現していくことになりうれしく思います。

千里ニュータウンにおける土地建物利用のルールを見直し

これまで路上駐車対策もあり、千里ニュータウン地区では集合住宅建設の際、戸数と同数の駐車場を確保するよう基本方針で定めていましたが、近年の車離れを反映し、駐車場の利用率が低下、実態にそぐわなくなっているため見直しが計られます。

服部天神駅周辺地区整備

本年の3月議会で当初予算にも盛り込まれていますが、更に関連費用を予算化して引き続き取り組んでいきます。阪急の高架化事業から取り残された感もある服部周辺の整備の

弾みになればと期待しています。

利倉橋の掛け替え

かつて猪名川の氾濫被害防止のために、蛇行していた河川を直線的に付け替えるという事業が行われ、そのため唯一豊中市域で猪名川の西岸に位置することになった利倉西地区と、猪名川を渡って豊中市域を結ぶところに利倉橋（通称赤橋）があります。老朽化や通行量の増加にともない以前より掛け替えが検討されてきましたが、財政難のため長期間手つかずとなっていました。ようやく取り組めることになりました。



高校野球メモリアルパーク（玉井町）の再整備

高校野球メモリアルパークの隣接地において大規模な住宅開発が行われています。それに伴い、開発地の一部が公園として市に寄贈されることになり、既存のメモリアルパークと併せて一体的に再整備しようとするものです。平成27年が高校野球発祥から100周年、平成30年が夏の大会100回記念大会となることからそれらに向けて朝日新聞社をはじめとする関係機関からも協力を得ながら進めていきます。なお、我が会



派では「メモリアルパーク」という名称が一般的に墓地や霊園を指すことが多くなっている現在、これを機に名称変更を検討してはどうかと提案しています。

議会での質問から

経常収支比率について

硬直的な財政状況を改善するため、近年豊中市では経常収支比率（人件費、扶助費、公債費など経常経費が、市税、地方譲与税など経常一般財源に占める割合）を95%に抑えるということを目指して取り組み、実現してきましたが、所信表明において今後どうしていくのか明確には述べられませんでしたので、本市も平成24年に移行した中核市平均90.6%も引き合いに出しながら、あらためて市の見解を尋ねました。

それに対して市からは当面95%以下を目指すという目標に変わりはない、現状以上

に改善することを目指すとの答弁を貰いました。具体的な目標数値の改善はなかったものの、財政的にゆとりが生まれたわけではないという認識を持っていることが改めて確認できました。

新・第2学校給食センターについて

現在走井の梶池に整備中の新・学校給食センターはすでに直営（公務員）方式で運営することが決まっていますが、続いて新・第2学校給食センターを整備していく方針が決まり、その運営方法において調理・洗浄業務については民間活力を導入していく方向性が示されました。私はかねてより民間で出来ることはこれからは民間に開放していくことが望ましいと考えていましたのでこの方向性を歓迎しつつ、両方の施設で運営方法が違うということで、公と民で互いに切磋琢磨して欲しい事を意見し、そのためには市民の目から見てそれぞれの施設の評価を出来るように、毎年運営コストやその他の情報を積極的に公表して欲しいと要望。市からは決算の時点で決算説明書や教育に関する事務の点検および評価報告書などで公表するとの回答を得ました。

図書館について

今回、予算の付いた自動貸出機の導入について、全貸出件数における自動貸出機利用率をどのぐらいに設定するかということで議論しました。当初、図書館側では50%ぐらいという想定だったようですが、それでは行政改革の一環として導入するのにあまりにも志が低いと指摘、粘り強い交渉の結果、平成28年度には80%をめざし、その後はかぎりなく100%に近い利用率にしていきたいとの答弁を引き出すことが出来ました。今後、この数字が達成されるかどうか進捗状況を見守っていきたいと思います。

市政関連トピックス

最近の大阪空港を取り巻く状況について

空港運営権売却に関する実施方針が7月に出されました。かねてより、空港問題をライフワークととらえ、大阪空港の利便性の向上を目指してきた私にとって様々な可能性を秘めた取り組みとしておおむね賛意を示してきたところではありますが、中身を見ると数点気になる部分もあります。利便性の向上のためには、利用者ニーズの高い空港においては競争性が確保されることが必要だと考えるのですが、運営権者への参加資格の項目について不十分ではないかと思える内容となっています。また、移転保障跡地の今後の方向性や運営権者による地元への環境対策についても位置づけが不明確であり、今後、空港問題特別委員会委員として国や新関西空会社への要望の際にそのあたりの疑問を投げかけてみたいと思います。

ご意見・ご質問・ご感想は下記まで

北ノ坊しんじ事務所（月～木あさ10時～夕方5時まで、祝日休み）

〒561-0885 豊中市岡町10-10

電話06-6857-7620 FAX: 06-6845-1394

E-mail: shinji@kitanobo.net